



クロスワードタイム

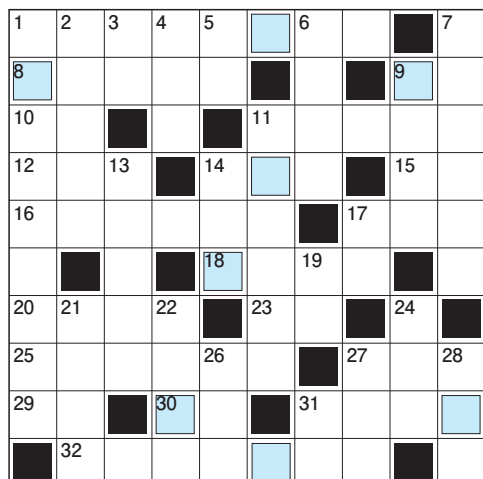
明けましておめでとうございます。気持ちも新たにクロスをお楽しみください。

二重枠の文字を並び替えると答えが出ます。答え、郵便番号、住所、氏名、加盟組合、Compassの感想を記入し、はがきかメールでご応募ください。正解者の中から抽選でクオカードを贈呈します。

■バ切：2月27日(金) ■宛先：mail → info@nikkenkyo.jp はがき → 〒169-0075 新宿区高田馬場1-31-16 ワイム高田馬場ビル3F 日建協クロスワード係

ヒント：

狂暴そうな見た目ですが、
実際は臆病な性格です(有袋類)。



ヨコの カギ

1. 戦国時代、織田信長の後を継いで天下を統一した武将。
8. 飲みすぎや運動不足で、おなかが樽のようにぼっこり出た状態。
9. 誰かを大切に思って、そばにいたいと感じる気持ち。
10. 物や光が目映るとき、赤・青・黄などに見えること。
11. 磯野家の日常を描く長寿アニメの、貝の名前を持つお姉さん。
12. 木や竹などの器に、うるしの液を何度も塗り重ねて作ったツヤのある食器。
14. 大阪の昔の呼び名。
15. 二つの面や線が出会ってできるすみの部分。
16. その人が得意で、よく演じたり歌ったり作れたりする出し物や曲。

17. 特別でも変でもない、ごくあたりまえの状態。
18. 秘密の情報やうわさを、こっそり知らせること。
20. カリブ海にある島国で、首都はハバナ。
23. 高い所から川の水がかたまりとなって一気に落ちる場所。
25. 人や動物に害を与える気体。
27. 意味がほとんど同じで、言い替えて使える言葉。
29. 事実でないことを、本当のように言うこと。
30. 米や酒を量る四角い木のはかり箱。
31. 垂れ耳で鼻が長く、小型の猟犬。スヌーピーのモデル。
32. サーフィンや潜水で着る、体の熱を逃がしにくいゴム素材の全身服

タテの カギ

1. 間に出勤日ははさんで、休みが続くこと。
2. フランスやドイツなどがある大きな大陸。
3. 文字を間違えて入れたときに、消すことを指示するしるし。
4. 見た目がきれいなこと。
5. 役職がなく、ふつうの立場の人。
6. 山形県南部にある、上杉家ゆかりで高級牛肉が名物の城下町。
7. マイクロソフトが作った、パソコンを動かすための基本のソフト。
9. 学校や仕事前の時間に、勉強や運動などをするこ。
11. 葉の先が赤っぽくて、やわらかいサラダ用の野菜。
13. 文字や数字を入れるために、指でたくさんボタンを押す道具。

14. 千葉県にある、大きな国際空港で有名な市。
17. むかし、人に送った手紙のこと。
19. 70歳の長寿のお祝い。
21. 手紙や荷物を、ポストや窓口から相手に届けてもらうこと。
22. 江戸時代の終わりで、明治時代になる前のころ。
24. 手紙の最後を書くあいさつの言葉。
26. ハンバーグやパスタなどを出す、赤い看板のファミリレストラン。
27. 物事や人の生まれた始まり、由来のこと。
28. クラブでボールを打って、できるだけ少ない回数で穴に入れるスポーツ。
31. 英語の文字で、Aの次にくる2番目の文字。

Vol.837クロスワード 正解と当選

答えは「世界陸上(セカイリクジョウ)」でした。



多数のご応募ありがとうございました。

当選者の方々にクオカードをお送りいたしました。

車塚美知子、千葉美穂子、守屋陽平、山口典子(アサヌマ)、佐藤みさき(安藤ハザマ)、西尾真一、三谷弘真(奥村)、大久保梓、矢部 瞳、佐久間友菜、佐藤さゆ里、角田初美、長瀬由佳、吉田将大、渡邊麻衣香(東洋)、大崎香織、梶原智美、河野勝彦、小木 愛、高橋 篤、松永勝美(戸田)、伊藤智規、佐々木佳子(西松)、勝見嘉人(JS)、川口和彦(野村)、峯 純子(ピーエス)、谷本真由美(フジタ)、鈴木智筆、高橋潤子、永治利実、中村康美、安井敏夫(松村)

<敬称略>

編集後記

加盟組合員の皆さん、新年明けましておめでとうございます。本年も変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

今号では、加盟組合会社訪問、建設業みらい共創会議、時短推進、建設産労懇の取組紹介など、盛りだくさんの特集記事を掲載しています。なかでも加盟組合会社訪問では、時間外労働の上限規制適用後の「労働環境の改善」や全産業で懸念されている「担い手確保」、「建設産業の魅力発信とエンゲージメント向上」などについて、皆さんと多くの意見交換をさせていただきました。私は北海道から大阪までの10社を訪問させていただき、普段なかなかお話をすることができない経営者の方々や加盟組合執行部の皆さんから大変有意義なお話をうかがうことができました。この貴重な経験を、今後の日建協活動にしっかりと活かしていきたいと思ひます。

最後に、機関誌「Compass」は、組合員の皆さんに日建協活動への理解を深めていただくための重要な広報媒体です。今後も皆さんに少しでも役立つタイムリーな情報を発信していきますので、引き続き変わらぬご愛読をよろしくお願いいたします。

船い

——新年、明けましておめでとうございます。本年が皆さまにとって、より良い一年となることを心よりお祈り申し上げます。

さて、コーナー名の「船い」とは、本来、船が流されないように、ロープで岸や他の船につなぎとめることを指す言葉であり、そこから転じて、「支え合い」や「助け合い」の様子を表現したものである。

なぜ最初にこのような解説をしたのかというと、私自身が日頃から、「一般化していない言葉を当然のように使うこと」に対して強い危機感を抱いているためである。

最近、言葉の伝え方に関する二つの視点のコラムを目にする機会があった。一つは、「日本語に不慣れな外国人人材に難しい言葉を使わず、伝わりやすいように配慮した、やさしい日本語の必要性や言葉選びのポイント」について論じたもので、もう一つは、「わかりやすいことは聞き手にとって重要な評価基準となる一方、理解したと思えばそこで思考を止めてしまうおそれがある。また、複雑

なことを無理に単純化すると本質が伝わらなくなる」という提言であった。

わかりやすい言葉とは、単に平易な表現を使うことではなく、相手の年齢や国籍、経験、立場や状況を意識して使い分けることによって形を変える。専門用語やカタカナ語などをむやみに用いず、相手が何を知らたがっているのか、何を理解すれば次の行動につながるかを考えながら丁寧に伝えることこそ、他者への思いやりであり、「船い」の精神を体现する行為ではないだろうか。

とはいえ、わが家には小学校入学前の娘がいるのだが、寝る前には本を読んでとせがまれる。最近のお気に入り「サバイバル」をテーマにした学習まんがで、これがなかなか内容が難しい。おそらくほとんど理解はできていないものの、わからないなりに楽しもうとしているのか、おとなしく耳を傾けている。話し手としての配慮だけでなく、自らが聞き手となった時のこうした姿勢も同じくらい大切なのだと気付かされた。(赤い洗面器の男)